

北中学校多忙化改善の取り組み

1. 目的

教員が多忙化を解消することで、生徒一人ひとりと向き合う時間を確保し、生徒理解を深め、教育の質を高める。



2. 内容

① 会議の効率化

・校内のインターネット掲示板を積極的に活用することで、打ち合わせや会議内容を精選し、時間短縮を図る。

② 学校行事の負担軽減

・行事の精選や取り組みの見直しを図る。

③ 業務の効率化

・データ整理を行い、共有できるデータを効果的に活用することで、業務の効率化を図る。

④ 部活動の負担軽減

・「きずなの日」「休養日（平日に1日、土日に1日）」の設定
・各部において、学校行事と大会日程を考慮し、見通しとゆとりを持った年間計画を作成する。
・外部指導者を活用し、教職員と連携して指導にあたる。

⑤ 地域人材の活用

・教育ボランティアや外部講師などの地域人材を活用するとともに、効果的活用方法について検討する。

⑥ 多忙化解消への意識改革

・毎月の最終施錠データを教職員に示すことで、現状を把握を把握し、超過勤務を減らす。

